

山鹿中学校便り『チャレンジ&エラー』

令和2年9月24日(木) No.8 文責 藤島浩一

信頼でつながりあえた体育大会でした。

今回の体育大会、無観客での実施に関しましては、ご理解と御協力をいただきありがとうございました。特に、3年生の保護者の皆様におかれましては、義務教育最後の体育大会であったことから心境を察すると心苦しく思っております。本当にすみませんでした。ただ、おかげさまで、新型コロナウイルス感染症拡大防止の目的を達成しつつ体育大会の実施ができましたことを全職員で喜んでおります。また、生徒達は、学級で一つの目標に向かいみんなで練習し、声をからすほど応援し、一つになる喜びを味わい歓喜している姿が印象的でした。改めて行事の大きな意義が分かった気がしました。縮小されたうえに、雨天で十分なコンディションでない中での体育大会でしたが、誰一人、あきらめた姿勢で競技する生徒はいませんでした。うまくいかなくても遅くなくても時間いっぱい、ゴールまであきらめない 絶対に あきらめない姿でやり抜いていました。そんな生徒たちの姿を誇りに思えました。加えて、きつと疲れ果てていたにもかかわらず閉会式での話を聞く姿勢は立派で、7



40人が集中していた姿は圧巻でした。これらの姿は、保護者の皆様のご協力と生徒達の頑張りはもちろんですが、そこに担任を含めた山鹿中学校職員の熱い思いも忘れてはならないと思っています。「生徒のみなさん、やり抜き、信頼でつながりあえた体育大会は立派でした。今後、感じて学んだ事を活かして様々な壁を乗り越えていきましょう。」

「太陽」介護老人保健施設の方々に元気を届けました。

先日、鹿本町にある介護老人保健施設の「太陽」さんに、入居者の方や働かれている方々に対して、各クラスから感謝の言葉や元気に過ごしてもらいたい等の思いをメッセージとして写真にあるような広用紙にまとめて届けました。当日は、生徒会長の青木君と人権ボランティア委員長の青木さんに届けてもらいました。2人からは、「緊張しましたが、施設の方々に大変喜ばれたので取り組んでよかったと思いました。」また、「まだまだ、世の中においてコロナ感染症が終息していない状況なので、今後も感染症防止に向けた対応が必要だと思いました。」との感想が聞かれました。生徒のみなさん各クラスからのメッセージありがとうございました。



部活動での活躍が見られています。

新型コロナウイルス感染症拡大防止で、全国各地で中体連大会や各種コンクール、発表会等が中止となりました。そんな中、各競技団体が感染拡大防止を行ったうえで大会が実施されている種目もありました。水泳部は、令和2年8月29日・30日アクアドームで「県中学生学年別水泳大会」開催され、優勝や新記録を出すなど輝かしい成績を収めてくれました。陸上部や駅伝部は、令和2年8月29日・30日えがお健康スタジアムで「全日本中学通信陸上県大会」が開催され各学年での優勝や入賞するなど日頃の練習成果が発揮されました。なお、駅伝部の石川さん(2年)は共通女子1500mで大会の標準タイムをクリアし、10月16日(金)～18日(日)に神奈川県で開催される全国中学生陸上競技大会に出場します。また、同大会日で前田先生(体育)が全国日本陸上競技連盟から「中学校優秀指導者賞」を受賞されスタジアムで表彰されました。太鼓部も9月13日(日)、晴天の中で約千三百年前に築かれた古代山城 鞠智城跡をバックに、今年、初めての発表会で緊張していましたが集中した姿で見事な演奏を披露してくれました。新聞記者さんの質問に志柿さん(3年部長)は堂々との確に答えていました。